

安心して暮らせる在宅生活を支援します！

# いきいき

(財)江別市在宅福祉サービス公社だより

平成15年3月31日 発行

第15号

編集・発行

財団法人

江別市在宅福祉サービス公社

江別市大麻沢町5-6

電話(011)387-5111

ファックス(011)387-8655



デイサービスのおとしよりと小学生の楽しい交流（詳しくは5ページ）

介護保険制度が始まり三年が過ぎようとしています。この間、介護保険サービスを利用する方の数は右肩上がりに増え、それは江別市も例外でなく、公社ではサービス利用のご希望にお応えするため、施設別・事業別に受け入れ体制を拡充整備し、サービスの量的質的な水準を確保に努めてまいりました。

介護保険制度は、三年毎に見直すこととされており、

今回、国においては介護保険報酬額の改定があり、また江別市では現行の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を総体的に見直し、平成十五年度からの五年を計画期間とする江別市高齢者総合計画を策定しましたが、この中で介護保険料の引上げが予定されています。また、平成十五年度からは、これまでの身体障害者福祉制度が新たに支援費制度として実施されることとなり、公社においても、訪問介護サービス提供事業者としての円滑な事業実施に向けて準備を整えてまいりました。

高齢者福祉制度が新たな展開を迎える中で、公社は、諸制度の動向を常に把握し、江別市における福祉施策の一翼を担う公的使命と法人としての経営理念との均衡を保ちながら、効率的な事業運営に努めてまいります。今後とも、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



理事長  
白佐俊憲

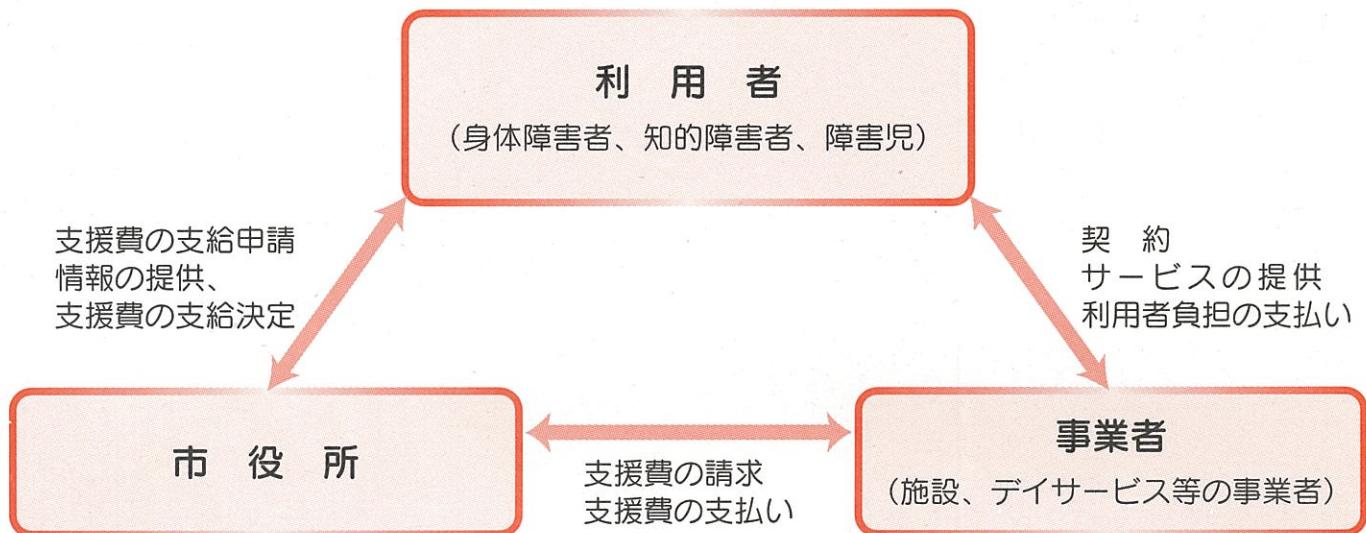
あらたな高齢者福祉制度へ

# 平成15年4月1日から 支援費制度が始まります

## ● 「措置」から「契約」へ

これまでの「措置制度」では、障害をお持ちの方への福祉サービスは、市が決定を行い事業者がサービスを提供してきましたが、これからは、障害をお持ちの方自らが、受けたい福祉サービスやサービス事業者を選択して、事業者・施設と対等な関係により契約を結んで、サービスを利用することができる「支援費制度」に変ります。この「支援費制度」は、平成15年4月1日から開始されます。

### ◀◀◀ 支援費制度の基本的なしくみ ▶▶▶



### 申請から利用まで

#### ① 支給申請

利用者は、市役所で支援費支給申請を行います。

#### ② 支給決定、受給者証交付

市役所は、受付後、利用者あるいは家族などから聞き取りを行ない、支援費の支給を決定します。  
決定した内容を、受給者証として利用者に交付します。

#### ③ 事業者との契約

利用者は、受給者証により、事業者（施設、デイサービス等の事業者）とサービスの利用について、契約します。

#### ④ サービスの利用

利用者は、契約した事業者から、サービスの提供を受けます。

利用にあたっては受給者証を提示し、事業者は提供したサービスを受給者証に記載します。

公社では、支援費制度の指定居宅生活支援（身体障害者ホームヘルプサービス事業）事業所の指定を受けて、ホームヘルプサービスを提供します。

サービスの利用を希望される方は、まず、市役所福祉課で支援費の支給申請を行ってください。

# 介護報酬が改定になります

この度、厚生労働省の介護保険報酬額改定案が示され、平成15年4月1日から、施行されることになりました。このことにより、利用者のみなさんがサービスを利用されるときに支払う一部負担金の額も変ることになります。公社が提供しているサービスに関わるもので、主な報酬改定の内容は次のとおりです。([ ]は現行の額です)

## ●訪問介護（ホームヘルプ）

### ・身体介護中心

(1割負担)

30分未満	2,310円 [身体介護中心 2,100円]
30分以上1時間未満	4,020円 [身体介護中心 4,020円] [身体介護と家事援助の複合型 2,780円]

### ・生活援助中心

(1割負担)

30分以上1時間未満	2,080円 [家事援助中心 1,530円] [身体介護と家事援助の複合型 2,780円]
------------	--

## ●通所介護（デイサービス）単独型〔所要時間4時間以上6時間未満〕

(1割負担)

要支援	4,080円 [4,740円]
要介護1又は2	5,060円 [5,470円]
要介護3、4又は5	7,180円 [7,340円]

※ほかに加算料金あり

## ●居宅介護支援（ケアプラン）

(負担金額なし)

8,500円	[要支援 6,500円]
	[要介護1又は2 7,200円]
	[要介護3、4又は5 8,400円]

## 平成15年度の予算及び事業計画

2月19日(水)の評議員会・理事会で承認されました、平成15年度の予算及び事業計画は、次のとおりです。

平成15年度予算 収入額 601,813千円  
支出額 601,813千円

## 主な事業

### 自主事業

生きがいと健康づくり事業、さわやかサービス提供事業

### 介護保険事業及び支援費事業

ホームヘルプ事業、デイサービス事業、居宅介護支援事業

### 受託事業

精神障害者ホームヘルプ事業、生きがい対応型デイサービス事業

高齢者世話付住宅援助員派遣事業、在宅介護支援センター運営事業

いきいきセンター管理運営事業



# 江別訪問看護ステーションの紹介

いきいきセンターさわまちの2階に事務所がある江別訪問看護ステーションは、社団法人北海道総合在宅ケア事業団が運営する訪問看護事業所です。

ステーションでは、在宅で医療や看護を必要とする方の訪問看護やご相談をお受けするほか、必要に応じて市内や市外のかかりつけの病院や医師との連携に努めています。

ステーションは、管理責任者(保健師)の西野所長ほか、看護師3名の計4名が月～金曜日の9：00～17：15にお受けしていますが、休日や時間外の受付もできますので、介護保険や訪問看護について聞きたいことやご相談があれば、お気軽に利用していただきたい、と西野所長は話しています。

## デイサービスが通年開設となりました

公社のデイサービスと生きがいデイサービスは、これまで年末年始（12月30日～1月3日）を休業していましたが、今年度から通年開設し、休みなくサービスを提供することとしました。

今年は、初めてのことでのくらいのご利用があるのか不安な面もありましたが、いきいき・あかしや・わかくさの3施設を併せて5日間で121人の利用があり、特に新年の三が日は、かるたとりや宝引きなどお正月らしいレクリエーションも交えて、利用者の皆さんにはとても好評でした。デイサービスの職員たちも「正月返上でがんばった甲斐があったね、来年もやりますよ。」と張り切っていました。

## いきいきライフ2002、盛況のうちに終わる

昨年9月28日 いきいきセンターさわまちにおいて、いきいきライフ市民のつどい2002が開かれました。

当日は、あいにく午後から小雨の混じる天候となりましたが、午前中を中心に会場には、約400人の方が訪れ、会場オープンと同時に開いたバラの花プレゼントに始まり、野菜の直売、サークルや教室で行った作品の展示をながめたり、バザー・フリーマーケット、喫茶コーナーなどでひとときを過ごしました。また、今回は在宅介護支援センターの職員による介護なんでも相談コーナーが大変好評でした。



# 大麻小学校の子どもさんの訪問がありました。

昨年11月6日に大麻小学校3年2組、8日には3年1組の児童の皆さんと、総合学習の一環として、いきいきセンターさわまちの見学に訪れました。

両日とも、職員からセンターの利用者やお年寄りについての説明や質問が終わった後は、館内の各室を探検（見学）して回り、デイルームではサービスを利用しているおとしよりに質問をしたり、反対におとしよりから質問をされたり、お手玉をして見せてもらったりするなど楽しい交流がありました。最後に子どもたちから歌や演奏のプレゼントがあり、おとしよりからの割れんばかりの拍手がついて、楽しい見学のひとときが終了しました。[表紙写真参照]

以下は、後日子どもたちから届いたお便りの一部です。

『いきいきセンターのいろいろなことを教えてくださって、ありがとうございました。ぼくは、住みやすさ、やさしさについて調べて、いろいろなサービスでどんなことをしているか、よくわかりました。ぼくが一番おどろいたことは、お年よりの家まで行って、お世話をすることです。ぼくは、もっとお年よりの人となかよくなって、ぼくたちも、お年よりの人に親切なことをしようと思います。』

大嶋康太くん

『いきいきセンターを見学させてくださってありがとうございます。とても、すみやすさ、やさしさがわかりました。わたしは、いきいきセンターを見学してよかったです。おとしよりが楽しめるカラオケや本やいろんなものがあることがわかりました。これからもお仕事がんばってください。』

中谷けいさん

また、11月1日に訪れた2年生からは、次のようなメッセージを飾ったクリスマスツリーが送られてきました。

『車いすのべんきょうをおしえてくれてありがとうございました。また、おじいちゃんとおばあちゃんのまえでうたいたいです。』

まいさん

『またいつか行きますので、お元気で長いきしてください。とてもいいべんきょうになりました。いつか行った時、またうたったりえんそうします。』

もときくん

このほかいきいきセンターでは、野幌中学校3年生、大麻中学校3年生（10月）、大麻小学校5年生（11月）の見学訪問がありました。

あかしやでは、1年を通してお向かいの東野幌小学校との交流が行なわれており、今年度も花のプランター贈呈（5月）、相互訪問の交流会（7、9、10月）、グループ毎の嗜好を凝らした行事（12～3月）が、また、わかくさでは第三小学校4年生（10月）、上江別小学校4年生（11月）の児童の見学訪問で、“昔の遊びや技”と“劇やクイズ”の交流などが行われました。公社では、これからも世代を超えた楽しい交流の機会を設けていきたいと考えています。

# (((( 娯楽室をご利用ください ))))

いきいきセンターさわまちでは、高齢者の方などがお気軽に立ち寄って、囲碁や将棋などをご自由に楽しんでいただけるように、2階の娯楽室を開放しています。

娯楽室では、毎日のように集まる方のほか、覚えたての方や時には小学生が来てベテランに手ほどきをしてもらうなど、世代を超えた盤上の戦いに楽しいひとときを過ごしています。

特に利用者の多い囲碁は、同好の方々がお茶代を持ち寄り、いつも和気あいあいと盤を囲んでいます。開館当初からの利用者で、お世話をされている南喜一郎さん（大麻西町）は、「初めは5、6人の集まりだったが、ここは、いつも明るく暖かい上に、椅子に掛けて囲碁ができるので、高齢者でも楽に使える。大麻地区以外からも自然と愛好家が集まってきて、今では30人を超えるほどです。」とおっしゃっていました。

皆さんもどうぞお気軽にご利用ください。



## ●教室のご案内

公社では、平成15年度も、60歳以上の方を対象とした、生きがいと健康づくりを図るために教室（前期）の受講生を募集します。申し込みの受付は、4月14日（月）から18日（金）の間に直接センターで行ないます。定員を超えた場合は抽選となります。

教 室 名	日 程	時 間	受 講 料	定員
陶芸教室 1	5月16日（金）～9月19日（金） 第1・3・5金曜日	13時30分～ 15時30分	3,000円	24名
陶芸教室 2	5月8日（木）～9月25日（木） 第2・4木曜日	13時30分～ 15時30分	3,000円	24名
七宝教室	5月26日（月）～12月22日（木） 第2・4月曜日	10時00分～ 12時00分	初回 1,600円 2回目以降 600円	16名
ヨガ教室	5月21日（水）～9月17日（水） 第1・3・5水曜日	10時30分～ 12時00分	1,000円	30名
健康体操教室 初 級	5月8日（木）～9月25日（木） 第2・4木曜日	13時30分～ 14時30分	1,000円	30名
健康体操教室 中 級	5月8日（木）～9月25日（木） 第2・4木曜日	14時40分～ 15時40分	1,000円	30名
押し花教室	5月13日（火）～1月13日（火） 第2・4火曜日	10時00分～ 12時00分	1,000円 他材料費	20名

各教室とも全10回（押し花教室のみ全16回）になります。

## お悔み

当公社の監事太田貞三さんが、1月26日にご逝去されました。

太田氏は、平成12年4月から約3年間監事として、公社の財政運営に尽くしてこられました。

茲に、謹んでご冥福をお祈りします。

なお、後任の監事には、桑原政治さんが選任されました。

## 新役員の紹介（任期：平成14年6月1日～平成16年5月31日）

理事長 白佐俊憲	理事 明孝一	理事 河上義之
副理事長 佐藤功	理事 和地研策	理事 宮内清
常務理事 鈴木潤治	理事 伊藤信子	監事 桑原政治
理事 池永和親	理事 吉田要	監事 小玉隆
理事 伊藤雅博	理事 中田清	

## 新評議員の紹介（任期：平成15年3月1日～平成17年2月28日）

帯刀トヨ	五十嵐幸江	荻原美恵子	横山昌子
三井房子	加藤宏昭	前野政勝	橋本富美子
高松純子	岩田恭子	大野啓子	紅葉俊三
久田康由喜	高川一伸	池田和司	

## ●賛助会員（平成14年2月16日～平成15年2月28日）

敬称略

大麻第三住区自治連合会	10,000円		
江別痴呆の人の家族を支える会	10,000円		
原田清美	2,000円	荻野文雄	2,000円
鈴木義雄	2,000円	千葉規夫	2,000円
三角優子	2,000円	河内一男	2,000円
三井房子	2,000円	横山昌子	2,000円
大角恭子	2,000円	村松久代	2,000円
大村勇二	2,000円		
匿名ご希望2名	計4,000円		ありがとうございました。

## ●ご寄附（平成14年2月16日～平成15年2月28日）

敬称略

陶芸じゅらく会	28,440円	障害者の自立を支援する会	20,000円
谷口信夫	20,000円	池田斌修	10,000円
大麻第三住区連合会	10,000円	草野正義	3,000円
匿名ご希望3名	計18,000円		
川瀬一男		タオル100本、バスタオル15本	

ありがとうございました。

もっと人のなかへ！  
地域のなかへ！

## 在宅介護支援センターの介護予防活動

現在、江別市からの委託を受けて、市内8ヶ所の在宅介護支援センターが運営されていますが、利用されたことはありますか。

公社も「いきいき」「あかしや」「わかくさ」の3ヶ所で、地域における介護の身近な相談窓口として在宅介護支援センターが活動していますが、これからは、日常の介護相談に加え、介護予防活動の拠点としての新しい役割が期待されています。

『介護予防』は、いつまでも介護を必要としない、元気な高齢者でいるための活動です。

北海道では、2030年には3人に1人が65歳以上の高齢者になると予想されています。「もう、年だから…」と、あきらめてはいけません。生涯現役でいきいき過ごすためには、元気なうちからの準備が必要なのです。

平成15年度、在宅介護支援センターでは、「もっと人のなかへ！ 地域のなかへ！」を合言葉に、介護予防活動に積極的に取り組んでいきます。4～5月には、各地域で介護予防教室を開きますので、『元気に歳をとりたい』方は、どうぞお気軽にご参加ください！

(内容は次のとおりです。詳しくは、広報えべつに掲載されますので、お楽しみに！)

とき	4月～5月にかけて、地域の在宅介護支援センターごとに開催します。(市内8ヶ所)
ところ	最寄りの公民館、集会所、地区センターなど
対象	介護認定を受けていない65歳以上の方
内容	介護予防ってなに？(講義)、あなたの「介護危険度」診断します！、自宅で出来る簡単な体操(実技)、交流会(食事会)など。

## 訪問介護員（ホームヘルパー）募集

公社のヘルパーステーション（いきいき・あかしや・わかくさ）では、介護保険、支援費制度及び精神保健福祉制度に基づく訪問介護（ホームヘルプ）に従事する非常勤職員（ホームヘルパー）を募集しています。

年齢：年齢50歳まで。訪問介護員1級研修または2級研修修了者、介護福祉士、看護師資格取得者

資格：高卒以上、人数：若干名

詳しくは、下記までお問い合わせください。

江別市大麻沢町5番地の6 電話387-5111 財団法人江別市在宅福祉サービス公社事務局庶務係

### 施設のご案内

